

編集 新潟県商工会女性部連合会
発行 新潟県商工会連合会
新潟市中央区新光町7番地2
TEL 025(283)1311代
印刷 北洋印刷株式会社

しなの川

題字 末武県女性連会長

誓いの言葉

一、わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展のよき協力者であるとともに、推進者となります。

一、わたしたち商工会女性部は、商工女性の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります。

一、わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に努め、豊かなまちづくりの担い手となります。



年頭のごあいさつ

新潟県商工会女性部連合会

会長 末武 榮子

新年を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、四月に最大震度七を観測する熊本地震が発生し、熊本県、大分県では甚大な被害に見舞われ、今もなお復興に向け進んでいます。八月には台風十号が北海道、岩手県を襲い、十月の台風十八号では、県内の一部地域でも被害を受けました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

大規模な災害が続いて発生している状況でしたが、八月のリオデジャネイロオリンピックでは、日本国民が一丸となって応援し、日本が獲得したメダル数は四十一個と史上最多を更新し、明るいニュースをもたらしてくれました。二〇二〇年には東京でオリンピックの開催が決まり、選手たちの更なる飛躍はもろんのこと、これを機会に日本が元気を取り戻すことが期待されます。

さて、私たち女性部は、五月に通常総会・部長等研修会を湯沢町で開催し、一日目は、新潟ガールズ集団 Lily&Mary's 代表 今井 美穂 氏をお招きし、「地域の魅力を発信！地域活性化モデルの挑戦」をテーマにご講演をいただきました。二日目は、全国商工会連合会 中小・小規模企業成長実行本部長 増山としかず 氏から「儲かる事業

と地域をつくらう！」中小・小規模事業者の課題解決へ」をテーマにご講演いただき、豊かなまちづくりの担い手である女性部員として、そして商売をする事業者として大変参考になりました。

また、今年度は商工会青年部女性部全国組織化五十周年という節目の年にあたり、十一月に福島県で記念式典が開催され、初めて青年部・女性部合同の全国大会が開催されました。改めて、青年部・女性部の使命、果たすべき役割の重要性を認識いたしました。

十二月には県女性連の米一合運動として、仮設住宅等に入居されている岩手県・宮城県内女性部員一二八名にお米を五kgずつ贈呈し、現地を訪れ、五年十ヶ月が経過したにもかかわらず、今もなお復興道半ばという状況を目の当たりにし、引き続き、支援の必要性を強く感じてまいりました。

さて、今年の干支は「丁酉」。「とり」は「とりこむ」と言われ、商売では縁起の良い干支となっています。また、新潟県女性連も創立五十周年を迎えます。女性部がますます活気に満ち溢れ、飛躍できる年になりますよう、心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

商工会青年部・女性部全国組織化50周年記念式典及び 第18回商工会女性部全国大会(福島大会)開催される



末武全女性連会長 式辞

去る十一月八日(火)〜九日(水)の二日間、福島県郡山市「ビッグパレットふくしま」において、約五、二〇〇名の参加者のもと、商工会青年部・女性部全国組織化五十周年記念式典及び第18回商工会女性部全国大会(福島大会)が開催されました。今年度は青年

部と合同開催となり、新潟県女性連から一四〇名が参加しました。

新潟県女性連は七日(月)から三日間の日程で参加し、七日は「世界のガラス館猪苗代店」にて昼食をとり、「蔵の町喜多方磐」を散策し、新潟県女性連で懇親会を行いました。



七日 新潟県女性連の懇親会



オープニングセレモニー 合唱

八日、午前十一時二十分より、オープニングセレモニーとして郡山高等学校の生徒による合唱・詩の朗読が行われ、四七都道府県旗が入場し、商工会青年部・女性部全国組織化五十周年記念式典が開催されました。

物故者及び東日本大震災等被災者追



オープニングセレモニー 県旗入場

悼の黙祷・国歌斉唱の後、植村全青連会長、末武全女性連会長、石澤全国連会長から式辞があり、安倍内閣総理大臣からのメッセージが朗読され、世耕経済産業大臣、宮本中小企業庁長官、内堀福島県知事から来賓祝辞がありました。

続いて、優秀な成績を収めた都道府県青連・女性連や商工会青年部・女性部、個人に対して、中小企業庁長官表彰、全国商工会連合会会長表彰、全国商工会青年部連合会会長表彰、全国商工会女性部連合会会長表彰が行われました。新潟県女性連からは、中郷商工会女性部が中小企業庁長官表彰を、新潟西商工会女性部が全国商工会女性部

発表者及びテーマのご紹介

<最優秀賞>

九州ブロック代表

沖縄県渡嘉敷村商工会女性部 国吉佳奈子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
～小さな島のものづくり・ひとづくり～

<優秀賞>

東北・北海道ブロック代表

山形県庄内町商工会女性部 渡部伊君子
「女性部活動に参加して」
～MJYプロジェクト～

近畿ブロック代表

滋賀県日野町商工会女性部 森田礼子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
～街を感動でいっぱいになりたい♡
三方よしのプライダル事業～

関東ブロック代表

東京都羽村市商工会女性部 矢部久子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
～もう一度 花嫁～

中国・四国ブロック代表

愛媛県久万高原町商工会女性部 中里あゆみ
「女性部活動と地域振興・まちづくり」

中部ブロック代表

富山県富山市八尾山田商工会女性部 毛利禮子
「女性部活動と地域振興・まちづくり」
～女性パワーで魅力発信～

連合会会長表彰を受賞されました（コメントは五頁参照）受賞者を代表して、富山県入善町商工会青年部の中瀬氏から謝辞があり、閉会の挨拶がなされ、五十周年記念式典が終了しました。

その後休憩を挟み、全国六ブロックの代表による主張発表大会が行われました。例年レベルが高く、全国大会にふさわしい発表であり、どの発表も、女性のパワーを結集させ、先頭に立つて地域振興を担っていく商工会女性部の見本となるような内容で、今後の活動のヒントとなりました。

また今年度は初めての青年部・女性部合同開催ということで、青年部の力強く迫力のある主張発表も聞くことができ、新しい視点や考え方も大変参考になりました。特に、関東ブロック代表として新潟県吉川商工会の矢澤雄一郎氏が出場し、「青年部活動と地域振興・まちづくり」くふるさとへの想いと私なりの地域振興くと題して、熱く情熱的な主張発表をされました。十二名の発表が行われ、一日目の全国大会が終了しました。



交流会 鏡開き



プレゼンテーションふくしま VOICE

引き続き 会場をホテルハマツに移し、参加者約一、二〇〇名のもと交流会が開催されました。フラダンスや地元福島の歌・踊りに会場内はとても盛り上がり、他都道府県女性部の方々とも交流を深めることができ、大変素晴らしい一夜となりました。

全国大会二日目の九日は、午前十時より、復興までの道のりを発信するプレゼンテーションくふるしまVOICE〈想・創・奏 次の一〇〇年へ〉があり、福島県の青年部・女性部員三名が東日本大震災後の復興の様子や、将来に向けた青年部・女性部の活動の展望を述べました。

その後、主張発表大会審査委員長の福島大学 天野和彦特任准教授より、講評と審査結果が発表され、厳正なる審査の結果、九州ブロック代表の沖縄県渡嘉敷村商工会女性部 国吉佳奈子氏が最優秀賞を受賞されました。国吉氏の発表内容は以下のとおりです。

渡嘉敷村商工会女性部は平成二十四年に部員九名でスタートした。女性部活動は子どもやお年寄りに配るお守りの作成、花いっぱい運動での港を彩る花畑の手入れ等であったが、地域から地産地消の商品開発をしてほしいとの声に応えるべく、島でとれる紫黒米を使った「自分たちにしか作れない」味噌づくりを始めた。

味噌づくりは一筋縄ではいかず、まずは予算確保のため助成金に応募するところからのスタートであった。何十キロもの大豆を手作業で茹で、つぶし、試作を繰り返した。カビが生えるなどの失敗もあり、何度も何度も試行錯誤を重ねた。そうしてようやく完成した味噌は、物産展で特別賞を受賞し、NHKや雑誌の取材を受け、大注目の人気商品となった。

順風満帆に見えるが決してそのようなことはなく、女性部員同士の助け合いがあつてこそ、ここまでやってこれた。仕事に子育て、介護等、女性部活



最優秀賞 国吉佳奈子氏

動のために動けない時もあるが、そのような時に力を合わせる環境を作ることができた。これからもこの結束を大切にしていきたい。

最後に、次回開催県である岐阜県商工会女性部連合会より地域のPRがなされ、閉会宣言の後、午前十二時に女性部全国大会は終了しました。

会場を出発し、「レイクサイド磐光」にて昼食をとり、「会津武家屋敷」を見学後、一路新潟へ向かい、全行程は終了しました。

お忙しい中ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。

商工会青年部・女性部全国組織化 五十周年記念式典に参加して



関原地区商工会女性部
部長
高橋裕子

「想」「創」「奏」の大会スローガンのもと、福島に五、二〇〇余人の青年部員、女性部員が一堂に会した感動的な大会でした。

初めて聞く青年部の主張発表は気迫と熱意に溢れ、厳しい現実に向かい、地域は変えて行けるという期待としっかりとした考えを持った勇氣ある青年たちの力強い発表でした。

また、表現力が素晴らしく、特に最優秀賞を受けられた南三陸商工会青年部の及川さんの発表は、思わず涙してしまうほど感動しました。

そして、女性部六名の発表もチーム力、地域への貢献度が高い内容でした。

十二名からのパワーを感じ、地域のために組織力を活かした活動の大切さを強く感じました。

出来れば、また、青年部との合同の主張発表大会の機会を計画して頂き、一人でも多くの方々から参加して頂ければ幸いです。

商工会青年部・女性部全国組織化 五十周年記念式典に参加して



妙高商工会女性部
部長
庄司郁子

冷たい風が吹く寒い中、福島県女性部の大勢の皆様より温かいお出迎えをいただきました。会場は、ビックパレットふくしま。約五千二百人あまりの参加者のもと大会は始まりました。

さすが全国大会。主張発表の皆様は、堂々と地元の活動を話され、内容も濃く女性部に対する情熱を感じました。

主張発表後の懇親会は、音楽に合わせて踊ったり本当に楽しい時間を過ごさせて頂きました。

次の日は、主張発表の最優秀賞と次年度全国大会の会場が発表となりました。次年度の女性部全国大会は岐阜県です。この全国大会の素晴らしい感動を、もつと多くの部員さんに知っていただきたいと思われました。帰りも来た時と同様に、女性部の皆様が大勢で見送ってくださいました。

タッチをしながら、ありがとうございましたと挨拶をして、まだまだ冷めない興奮の中、帰路に着きました。